

# こ かげ

第9号

平成22年 8月31日発行

## ホームルーム・連絡事項

### 配布物

- 1 こかげ第9号

2

### 連絡

- 1 本日は、朝の会を終了後、公民館周辺の環境整備・雑草除去作業等を実施します。こまめな水分補給に留意をしながら行いたいと思います。また、体調に配慮をし、決して無理をしないようにお願いします。  
昨年までの例ですと、およそ1時間程度の作業となっていたようです。  
作業の進み具合と、草の量などにより時刻は多少変化すると思いますが、11時ころから、講座室で、合唱の練習を行う予定です。前回（8月24日）に作成した楽譜を使用します。忘れた方は、指導員まで連絡ください。
- 3 本日も研修旅行の受付日です。会計係の方へ¥3000円を添えて申し込んでください。
- 4 『第25回 旭川市民1000人の大合唱』について、各班の班長さんは、参加予定人数を指導員まで、昼休み等にお知らせください。
- 4 写真代は直接、指導員にお願いします。

## 今日の学習

午前 ボランティア活動 『公民館周囲の草取り・他』

終了後 『合唱練習』～講師 高橋正明さん

午後 2組 『陶芸』 講師 旭川市 押川 清（おしかわ きよし）さん

アシスタント 旭川市 押川 悦朗（おしかわ えつろう）さん

1組 『小筆で書こう』講師 旭川市 伊藤 俊夫（いとう としお）さん

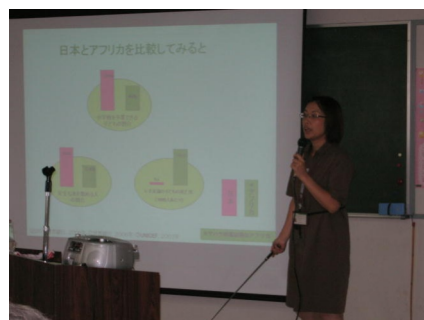
## 【 前回の学習内容 】

『国際理解について』

国際理解推進員 石 井 優 子  
(勤務先 旭川市国際協力委員会)

### 1 自己紹介

- ・3人兄弟の真ん中で育ちました。姉の「お下がり」が多く、いつも悔しかったことを覚えています。皆さんもお分かりと思いますが、真ん中の子ですから、きかない性格だったと、自分でも思います。
- ・そんな私ですが、幼稚園の先生との出会いが大きかったのです。とても優しい先生でした。「自分も幼稚園の先生になりたい！」との思いが芽生えました。色々と苦労もありましたが、最終的に何とか、その夢を実現することが出来ました。
- ・その後、札幌の幼稚園で勤める事になりました。自分が勤務した幼稚園で、バングラディッシュの子供と出会いました。その子は日本の生活に慣れておらず、大変苦労していましたが、徐々に慣れて、しばらくすると、ふつうにけんか出来るくらいにみんなと仲良くなりました。バングラディッシュは経済的に大変苦しい国ですが、その子は元気に育っていききました。
- ・その姿を見て、『人間は皆同じ。世界の国々に目を向けたい。開発途上国に目を向けたい』と言う気持ちが芽生えてきたのです。



### 2 エジプト・アラブ共和国のおはなし

- ・JICA の仕事をする事になりました。が、親には賛成してもらえませんでした。『アフリカだかインドだか、何でそんなところへ行くのか。なにかメリットあるのか。あほか！』などと言われたのですが、何とか、仕事につくことが出来ました。結局、10年間その仕事をしました。10年間欠かさず、ほぼ、毎週のように手紙は書き続けました。
- ・エジプト以外の国にも行ったのですが、今日はエジプトのおはなしをさせていただきます。エジプトの生活や生活習慣などで、日本との違いを大きく感じたのは『宗教 = イスラム教の強さ』でした。ラマダン（断食）が終わるときに、ほとんどの市民がいっせいに祈る姿に感動し、私はその光景を『美しい！』と思いました。日本では、イスラム教というと、何かしら『テロリスト』というイメージがあるようですが、私はそうではないと思います。



- ・ただ、宗教に関係した出来事で、非常に驚かされた事例がありました。勤めていた、エジプトの幼稚園での出来事です。紅茶を入れようとして、熱湯を運んで、歩いていた先生と園児がぶつかったのです。
- ・園児が頭から熱湯をかぶり、大やけどです。大声で泣きわめく園児を見て、私は

『誰か救急車を呼んで！』

と叫びました。そして、大急ぎで園児の服を脱がせ、頭から水をかけたのです。私にすれば、日本ではまったく当たり前のこととと思っていました。ところが、周りで見えていた他の先生たちが「優子、もうやめろ！もうやめろ！」と大声で叫ぶのです。必死でやめさせようとするのです。

- ・しばらくしてからわかったのですが、『人前で素肌をさらさない』という、イスラム教の教えがその根底に流れていたのです。自分にとっては、まったく想像もしていないことで、本当に驚いてしまいました。それぐらい、宗教の教えは、心の中に浸透していることを、思い知らされたのです。
- ・この経験は、私にとってはかなり重たいものでしたので、立ち直るのには相当の時間がかかりました。

- ・他に、エジプトで教えられたことには、家族の絆の強さでした。どの人もみんな家族を本当に大切にしていました。これは本当に強いという感じをもちました。



### 3 簡単な数字に挑戦

- ・その後にはアラビア文字の 1・2・3・4・5 をお教えします。

～基本を学び、練習問題を少しだけ出してもらい、みんなでがんばりました～

～身に着けるとまではいきませんでした、懸命に努力はしました～

～1 = ワーヘッド 2 = イトゥニ シン 3 = タラ サ 4 = アロバア 5 = ハムサ～

～百寿の皆さん、がんばって覚えましょう！？～

### 4 JICA シニアボランティアの活動

～世界各地で活躍している『シニア・ボランティア』の皆さんのDVDを鑑賞しました。地球のあちらこちらで、年齢を感じさせない元気さを発揮して、がんばる皆さんから、自分たちもパワーを注入されました。～



### 5 身近な国際交流

- ・自ら心を開く勇気を持ちましょう！皆さんたちにも出来ることはたくさん、有ります。

## 【講座の感想】

- ・石井さんのエジプトでの活躍や慣れない生活での大変さや、又珍しい食べ物の話。聞く私達も楽しくなるような、元気の出るような話でした。ヤケドの話なども考えられないような国の風習や文化と言いますか、驚きでいっぱいです。
- ・文化、宗教、家族の大切さ、地球的に助け合う、どこの国でも大変ながらも、すてきに生きてる喜びが、先生のお話で勉強になりました。
- ・先ず、講師の大変ユニークな話し方に引き込まれました。そして、開発途上国に住む人達に比べれば、不平を云ってられない事や、他の国の文化や習慣の違いにおどろき、数字の書き方はなかなかむずかしく、JICA ボランティアの活動に参加は残念ながら年齢でアウト。では、今の自分は健康第一に考え、医療費節約に努める事ぐらいかなと思いました。
- ・親の反対を押しきって行った国際協力推進員として、エジプト・アラブ共和国に行き、生活習慣の違いにおどろいたり、トイレがなく、雨が降ったりするとふけつさの中での生活でコレラが発病して多くさんの方が亡くなり、子供達も5歳くらいから家族の一員として働らかされて、御互いに助け合って、ささえ合っただけで生活をしている姿を見ていると、とても強いきずなでの生活に感動させられました。お金のある方はきふをして、助けてくださっているとの事、お金がある方はなんでも買えるとの事、どこの国でも同じなのかなーと感じました。生活習慣の違いと日々の生活に、日本の国は、めぐまれていることに感謝します。

## 【午後の講座】

『陶芸』・『小筆で書こう』

- ・午後は1組と2組とで違う内容で、実技の講座でした。
- ・1階の講座室では陶芸に挑戦。粘土を相手に思い思いの作品を作りました。
- ・焼きあがるまでには、しばらく日数がかかりますが、どんな色合になるか、楽しみながら待ちましょう。
- ・粘土を『練る』という、一番ハードな作業は、講師の方が済ませて置いてくださるので、その分作業はすぐに始められます。
- ・ですから、余裕の笑顔を浮かべながら楽しむことが出来ました。



(うふふ、私は一流なのよ)

【講座の感想】

・毎回作っても思う様には作れないものです。でも楽しく参加出来ました。

・2回目の陶芸教室でしたが、先生に助けていただき、素敵な盛皿が出来る日を楽しみにしております。本当にありがとうございました。



( 簡単だったらありゃしない )



( うまくいったわ )

( すばらしい腰つき )



( わっはっはっは、成功 )



( むふふふ。楽しいです )



( 見てください、これ )



( 夫 おい、こりゃ、すごい作品になるぞ )

( 妻 私が天才であることを忘れたのか )

- ・ 2階の講堂では小筆で書こうという実技講座でした。これは以前に行った『フォト575』の仕上げの清書ということをしたわけです。
- ・ 西洋紙や半紙で繰り返し練習をしました。講師の伊藤先生にお手本を書いてもらったりもしました。かなり苦しんだ方もおられましたが、何とか完成にこぎつけた方が多くおられました。

【講座の感想】

- ・ 色紙とのバランスがとれなくて、いつも苦労します。
- ・ 小筆を持つと、とても気持ちがひきしまり、勉強になりました。



( 素敵な作品でしょ )



( 苦労して書き上げました )

( ぜひ見てください )



- \* 講座の最後に、講師の伊藤先生が作品を見せてくださいました。さすが！ですね。



次回の学習予定

9月7日(火) 1組 2組 共通

午前 『バリアフリー社会』

講師 車いす紅蓮隊 五十嵐 真 幸 さん

午後 『花のリース作り』

講師 マミーフラワーデザイン  
澤 沼 雅 子 さん

\*持参いただきたいもの

- ・ はさみ (公民館にもありますが、使い慣れたものがある方は持参くださると助かります。)
- ・ 白いボンド (公民館にもありますが、持参くださると助かります。)
- ・ 作品を持ち帰る袋 (スーパーの買い物袋などです)